

## 調査レポート

# アジア経済概況(2014年1・2月)

### 【目次】

#### . 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況・・・景気回復のテンポは緩やかなものにとどまる ..... p.1
2. 中国の主要指標解説: 内需拡大の鍵とされる消費の新しい傾向..... p.3
3. 台湾経済の概況・・・10-12月期の成長率は前年比2.9%に持ち直す ..... p.4
4. 韓国経済の概況・・・10-12月期の成長率は前年比3.9%に加速 ..... p.5

#### . ASEAN・インド

1. タイ経済の概況・・・10-12月期の成長率は前年比0.6%にとどまる ..... p.6
2. インドネシア経済の概況・・・10-12月期の成長率は5.7%と小幅加速..... p.7
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標..... p.8
4. ベトナム経済の概況・・・緩やかながら持ち直しの動きがみえる ..... p.9
5. インド経済の概況・・・10-12月期の成長率は前年比4.7%と低迷..... p.10

- . アジア通貨・株価動向 ..... p.11

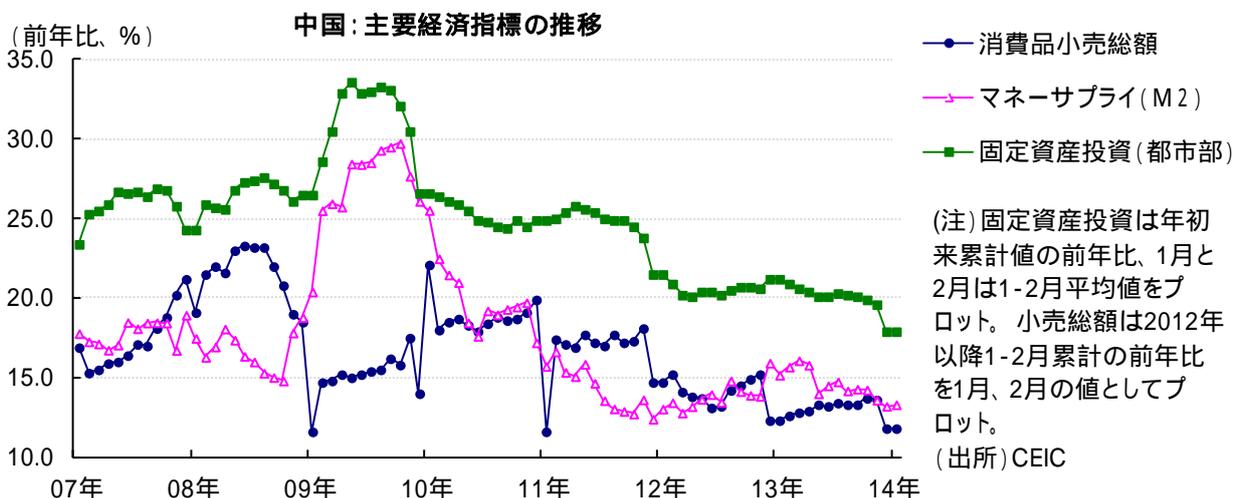
三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子  
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2  
TEL: 03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気回復のペースは依然として緩やかなものにとどまっている。
- ・ 2月の製造業購買担当者指数（PMI）は50.2と前月（50.5）から0.3ポイント低下した。2012年10月以降、景気の拡大と縮小の分岐点である50を17ヶ月連続で上回っており、緩やかながらも景気回復が続いていることが示唆されている。また2013年以降発表されるようになった生産経営活動予想指数は61.8と前月（51.3）から10.5ポイントと大幅に上昇しており、1-2月のPMIの低迷は1月末からの旧正月（春節）休暇中に生産活動が縮小した影響が大きく、休暇明け後に持ち直す可能性があることが示されている。
- ・ 1-2月期の消費、投資、生産の指標はいずれも2013年実績を下回る伸び率にとどまった。綱紀粛正あるいは生産能力の調整など政府の政策の影響が現れているようだ。
- ・ 2月の輸出は春節の影響で前年比18.1%減と前月（同10.5%増）から一転、大幅な減少となった。1-2月ペースでも前年比1.7%減と弱含みだが、前年の1-2月には香港向けの輸出が大幅に拡大し、伸び率が嵩上げされていたとみられ、基調は必ずしも弱くないとみられる。
- ・ 2月の消費者物価上昇率は前年比2.0%と3ヶ月連続で3%を下回った。景気回復のペースが緩やかなものにとどまっている上に、政府の綱紀粛正策により高級品に加えて外食などに対する支出も減少していることも影響しているとみられる。また、2月の生産者物価は過剰生産能力の削減がなかなか進まない中で、前年比2.0%と依然として前年比マイナスが続いている。
- ・ 3月5日に開幕した全国人民代表大会（全人代）において今年の実質GDP成長率、並びに消費者物価上昇率の目標が発表されたが、いずれも昨年と同じ7.5%前後、3.5%以内に据え置かれた。安定成長を維持しながら改革を進める方針とみられる。



【中国・香港の主要経済指標】

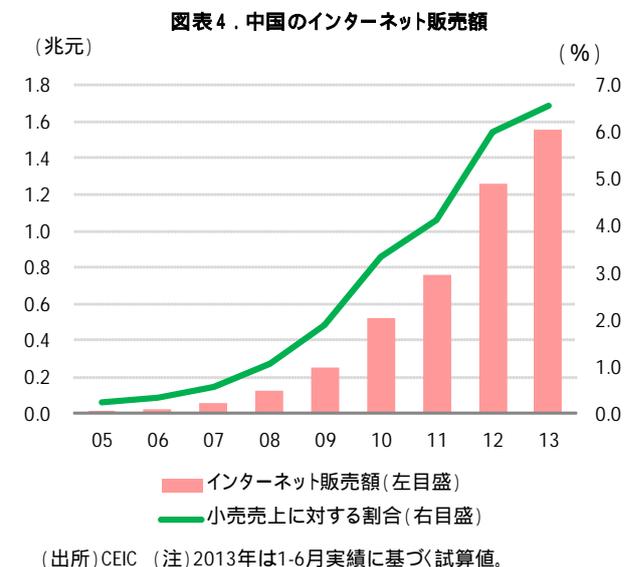
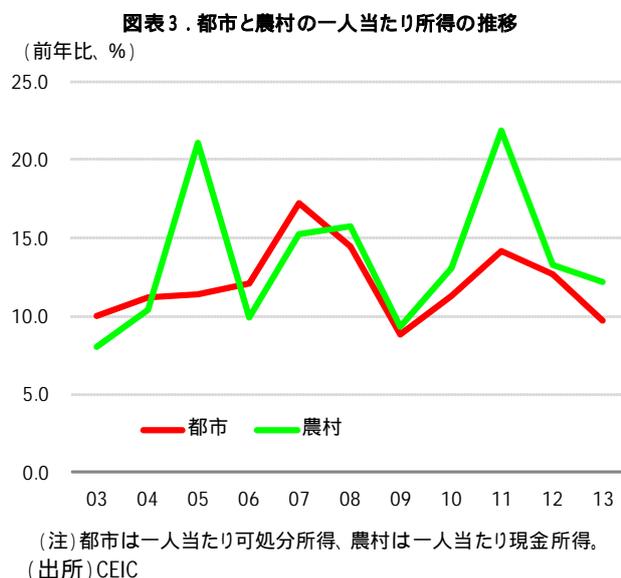
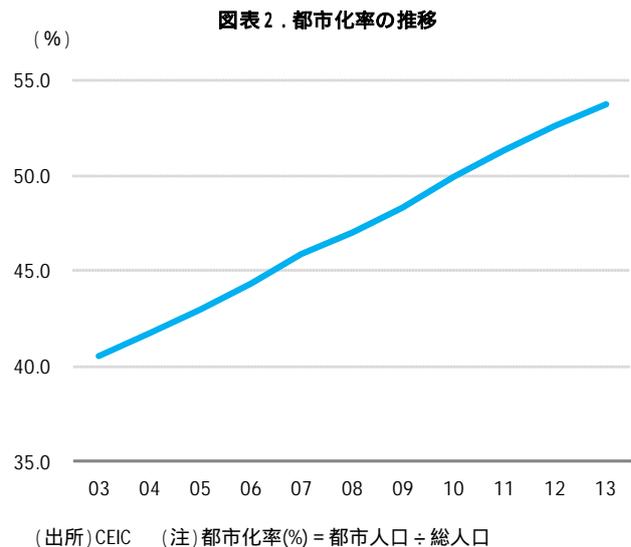
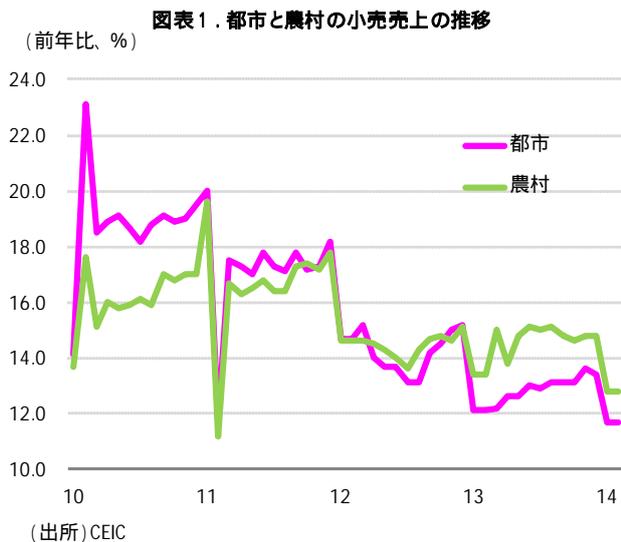
			2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.9	1.5	1.8	2.2	1.8			
			前年比%				7.9	7.7	7.5	7.8	7.7			
		(累計ベース)	前年比%	9.3	7.7	7.7	7.7	7.7	7.6	7.7	7.7			
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	17.8	9.8	9.5	9.8	9.6	8.8	9.4	9.5			
	消費	消費財小売総額	前年比%	17.1	14.2	13.2	14.5	12.4	13.0	13.3	13.5	13.6		11.8
		うち都市部	前年比%	17.2	14.2	13.0	14.5	12.2	12.7	13.0	13.4	13.4		11.7
		うち農村部	前年比%	16.6	14.5	14.8	14.6	14.0	14.6	15.0	14.7	14.8		12.8
		自動車販売台数	前年比%	2.5	4.3	13.9	6.9	13.1	11.4	13.6	17.4	17.9	6.0	17.8
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	5.2	7.1	15.7	7.4	17.2	10.4	14.5	20.3	21.5	7.0	18.0
		消費者自信指数	期中平均	103.3	102.4	101.2	105.0	105.1	99.9	98.3	101.4	102.3	101.1	103.1
		消費者期待指数	期中平均	106.6	106.9	105.5	108.8	110.4	103.8	102.0	105.7	106.8	105.0	107.0
		投資	固定資産投資(都市部・500万円以上;年初来累計)	前年比%	23.8	20.6	19.6	20.6	20.9	20.1	20.2	19.6	19.6	
	うち不動産・居住用建物		前年比%	29.7	22.1	20.3	22.1	24.1	22.9	21.0	20.3	20.3		19.1
	うち国内企業		前年比%	24.7	21.2	20.5	21.2	21.7	21.3	21.0	20.5	20.5		19.2
	うち製造業		前年比%	31.8	22.0	18.5	22.0	18.7	17.1	18.5	18.5	18.5		15.1
	うち鉄鋼		前年比%	14.6	2.0	2.1	2.0	7.7	3.3	2.6	2.1	2.1		0.1
	うち輸送機械(自動車)		前年比%	27.2	32.8	15.0	32.8	15.3	14.4	15.4	15.0	15.0		20.7
	うち電気機械		前年比%	44.6	4.8	10.7	4.8	5.5	5.9	8.5	10.7	10.7		8.7
	うち情報通信機器		前年比%	34.2	12.9	20.2	12.9	19.7	22.4	21.7	20.2	20.2		17.5
	直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	1.1	10.1	8.6	10.1	10.4	9.2	9.3	8.6	8.6	8.7	
直接投資実行額(累計ベース)	前年比%		8.1	2.3	2.9	2.3	1.4	4.9	6.2	2.9	2.9	16.1		
不動産景気指数	期中平均	101.6	95.6	97.3	95.3	97.7	97.3	97.3	96.8	97.2		96.9		
貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	154.9	230.3	259.2	83.3	43.5	65.7	61.5	90.5	25.6	31.9	23.0	
	輸出(ドルベース)	前年比%	20.3	7.9	7.9	9.4	18.3	3.7	3.9	7.4	4.3	10.5	18.1	
	輸入(ドルベース)	前年比%	24.9	4.3	7.3	2.7	8.5	5.0	8.4	7.2	8.6	10.8	10.4	
	対米貿易収支	10億ドル	202.3	218.9	215.9	58.1	41.0	51.5	60.3	63.1	17.8	18.5	7.0	
	対日貿易収支	10億ドル	46.3	26.2	12.0	2.4	1.0	4.3	5.2	1.5	1.5	2.3	2.5	
	外貨準備	期末10億ドル	3181.1	3311.6	3821.3	3311.6	3442.6	3496.7	3662.7	3821.3	3821.3			
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	13.9	10.0	9.7	10.0	9.5	9.3	9.6	9.7	9.7		8.6	
	うち国有企業	前年比%	9.9	6.4	6.9	6.4	5.2	5.2	6.3	6.9	6.9		4.4	
	うち株式会社企業	前年比%	15.8	11.8	11.0	11.8	11.3	10.9	11.0	11.0	11.0		9.9	
	うち外商・港台企業	前年比%	10.4	6.3	8.3	6.3	6.9	7.4	7.9	8.3	8.3		7.8	
	発電量	前年比%	10.9	4.2	8.3	7.4	4.2	6.9	11.6	10.1	10.5			
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	51.4	50.8	50.8	50.5	50.5	50.5	50.8	51.3	51.0	50.5	50.2	
	うち新規受注	%	51.9	50.9	51.7	50.9	51.3	51.3	51.9	52.3	52.0	50.9	50.5	
うち雇用	%	50.2	49.4	48.9	49.0	48.4	48.8	49.2	49.2	48.7	48.2	48.0		
新規輸出受注	%	50.0	49.3	49.4	49.8	48.9	48.6	50.0	50.3	49.8	49.3	48.2		
所得	都市一人当り所得(累計ベース)	前年比%	14.0	12.4	9.6	12.4	8.6	9.0	9.3	9.6				
	労働力市場求人倍率	期末	1.04	1.08	1.10	1.08	1.10	1.07	1.08	1.10				
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	40.4	40.8	40.3	40.8	43.4	41.8	40.9	40.3				
物価	消費者物価指数	前年比%	5.4	2.7	2.6	2.1	2.4	2.4	2.8	2.9	2.5	2.5	2.0	
	うち食品	前年比%	11.8	4.9	4.7	3.0	3.9	4.0	5.3	5.5	4.1	3.7	2.7	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	2.4	1.9	1.5	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4	1.5	1.3	
	生産者物価指数	前年比%	6.1	1.7	1.9	2.3	1.7	2.7	1.7	1.4	1.4	1.6	2.0	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.6	13.8	13.6	13.8	15.7	14.0	14.2	13.6	13.6	13.2	13.3	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	3.14	2.80	3.30	2.50	2.34	3.87	3.26	3.74	3.71	3.36	2.49	
	株価指数(上海総合)	期末	2,199	2,269	2,116	2,269	2,237	1,979	2,175	2,116	2,116	2,033	2,056	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.46	6.31	6.20	6.30	6.28	6.21	6.17	6.13	6.12	6.10	6.11	
	為替レート(円/元)	期中平均	12.3	12.6	15.8	12.9	14.7	15.9	16.1	16.4	17.0	17.1	16.8	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	4.8	1.5	2.9	2.9	2.9	3.1	2.8	3.0			
		うち民間消費	前年比%	8.4	4.1	4.2	3.7	6.5	4.6	2.4	3.2			
		うち固定資本形成	前年比%	10.2	6.8	3.3	8.5	3.3	7.6	2.8	5.3			
		名目GDP成長率	前年比%	8.9	5.3	4.2	7.1	4.2	3.5	4.4	4.6			
	消費	小売販売数量指数	前年比%	18.5	7.1	10.8	6.4	14.0	14.9	7.4	7.0	6.3	10.2	
		貿易	貿易収支	10港HKドル	426	478	503	135	111	137	119	137	54	20
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	10.2	2.9	3.6	7.0	3.9	2.4	3.3	4.8	0.0	0.4	
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	11.9	3.9	3.8	8.1	4.9	3.5	2.7	4.4	1.8	2.7	
	物価	消費者物価指数	前年比%	5.3	4.1	4.3	3.8	3.7	4.0	5.3	4.3	4.3	4.6	
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	12.8	10.3	11.7	10.6	10.6	11.5	12.1	12.5	12.4	9.6	
	ハンセン指数	期末ポイント	18,434	22,657	23,306	22,657	22,300	20,803	22,860	23,306	23,306	22,035	22,837	

(出所) CEIC (注) 固定資産投資統計の対象基準は2011年以降投資計画額50万円から500万円に変更。

## 2. 中国の主要指標解説：内需拡大の鍵とされる消費の新しい傾向

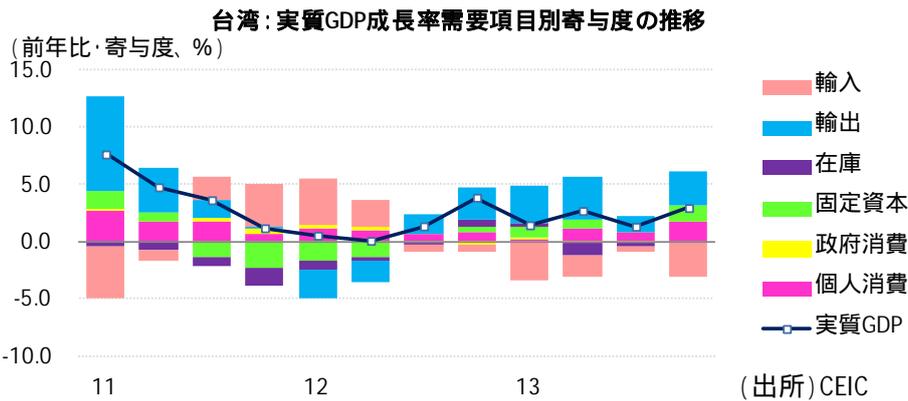
今般の全人代でも内需、中でも消費が経済の牽引役となるよう措置を講じることが謳われた。足元、消費は底堅く推移しているものの、2013年の小売総額は前年比13.2%増と目標(同14.5%増)を下回った。都市と農村に分けてみると、農村部の小売売上がほぼ前年比14%増を上回る水準で推移しているのに対して、小売総額の9割弱を占める都市部では、都市化の進展により市場規模が拡大しているにもかかわらず、同12~13%増前後にとどまっている(図表1,2)。

この要因として政府が進める綱紀粛正策の影響が都市部でより顕著であることが考えられるが、加えて近年、都市部に比べて農村部の所得の伸びが高いことも反映しているとみられる(図表3)。他方、より都市部で顕著と考えられるが、インターネット販売の急拡大により実店舗での販売に影響が出ている可能性も指摘されている(図表4)。インターネット販売の規模は2013年時点には実店舗ベースの小売売上の6.5%程度に高まっており、今後、消費の新たなチャネルとして消費の拡大に寄与していくことが期待されている。



3. 台湾経済の概況

- ・景気は持ち直し基調にあるものの、そのテンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・2013年10-12月期の実質GDP成長率は前年比2.9%と前期(同1.3%)から持ち直した。2013年通年の成長率は2.1%と前年(1.5%)より高まった。輸出が堅調であったことに加えて株価の上昇もあり、消費・投資とも前期から持ち直した。こうした中で台湾政府は2014年の成長率見通しを11月時点の2.59%から2.82%に0.23%ポイント引き上げた。
- ・1月の景気対策指標は前月(24ポイント)から2ポイント低下し22ポイントとなった。景気対策信号も「安定」の「緑」から再び「やや停滞」の「黄青」に戻っており、景気を持ち直しが緩慢であることが示唆されている。
- ・2月の輸出は、春節の影響で営業日数が少なかった前年に比べて前年比7.9%増と前月(同5.3%減)から持ち直した。1-2月ベースでも同0.4%増とプラスを維持した。
- ・2月の消費者物価上昇率は春節で物価が上昇した昨年と比べてほぼ横ばいだった。



【台湾の主要経済指標】

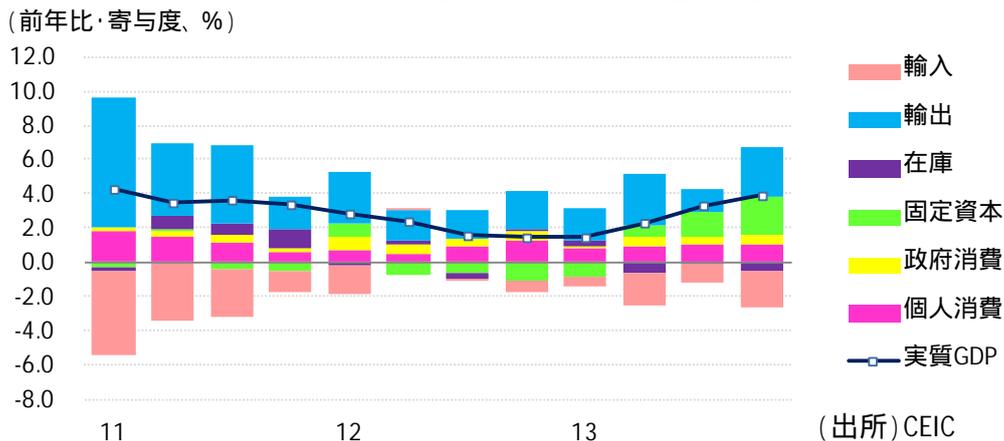
		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				1.3	0.6	1.0	0.1	1.8			
	(前年比)	4.2	1.5	2.1	3.8	1.4	2.7	1.3	2.9			
	うち民間消費	3.1	1.6	1.8	1.7	0.4	2.0	1.5	3.3			
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	2.3	4.0	5.3	2.2	6.4	5.4	0.6	8.9			
生産	鉱工業生産(yoy)	4.4	0.2	0.7	4.0	1.0	0.6	0.3	2.0	5.6	1.8	
消費	卸小売販売指数(yoy)	0.9	0.2	2.1	3.0	1.9	1.5	2.0	3.1	3.6	1.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	26.8	30.7	35.5	10.8	4.6	10.0	10.2	10.7	2.2	3.0	1.6
	輸出(yoy)	12.3	2.3	1.4	2.4	2.4	2.4	0.8	1.8	1.2	5.3	7.9
	輸出受注(yoy)	7.2	1.1	0.4	7.6	1.7	1.7	1.0	3.8	7.4	2.8	
	輸入(yoy)	12.0	3.9	0.2	0.1	4.4	3.6	3.4	2.1	10.0	15.2	4.9
	経常収支(10億ドル)	41.7	50.7	57.4	16.1	11.3	14.1	14.9	17.1			
	外貨準備高(10億ドル)	386	403	417	403	402	407	413	417	417	417	418
雇用	失業率(季調値)	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	
物価	消費者物価(yoy)	1.4	1.9	0.8	1.8	1.8	0.8	0.0	0.6	0.3	0.8	0.0
金融	M2増率(M2,yoy)	4.8	3.5	5.8	3.5	3.9	5.3	5.7	5.8	5.8	6.1	
	株価指数(加権指数)	7,072	7,700	8,612	7,700	7,919	8,062	8,174	8,612	8,612	8,463	8,640
	短期金利(オールナイト)	0.34	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	為替レート(NTドル/ドル)	29.5	29.6	29.8	29.2	29.5	30.0	30.0	29.6	29.8	30.3	30.4
	為替レート(円/NTドル)	2.70	2.69	3.28	2.78	3.12	3.29	3.30	3.39	3.47	3.43	3.36

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気は持ち直し基調にある。
- ・ 2013年10-12月期の実質GDP成長率は輸出の堅調を背景に投資・消費も増加テンポが加速し、前年比3.9%と前期(同3.3%)から一段と加速した。2013年通年でも2.8%と前年(2.0%)から持ち直した。2014年の成長率は、海外景気の一段の持ち直しからさらに加速し、3.8%になろうと韓国銀行は予測している。
- ・ 2月の輸出は前年比1.6%増に持ち直したが、1-2月ベースでは同0.6%増と微増にとどまっている。一方、消費は年明け以降も堅調に推移しており、堅調な内需が引き続き景気を押し上げているとみられる。
- ・ 韓国銀行は3月13日に10ヶ月連続となる政策金利の据え置き(2.5%)を決めた。国内景気は回復基調にあるが、海外経済の先行きに不透明感があるため、当面様子見としている。

韓国: 実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



【韓国の主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.3	0.8	1.1	1.1	0.9			
	(前年比)	3.7	2.0	2.8	1.5	1.5	2.3	3.3	3.9			
	うち民間消費支出	2.4	1.7	1.9	2.7	1.5	1.8	2.1	2.2			
	うち固定資本形成	1.0	1.7	3.8	4.2	3.8	2.9	5.9	8.8			
	うち設備	3.6	1.9	1.5	5.2	11.9	4.6	1.5	9.9			
生産	鉱工業生産(yoy)	6.0	1.4	0.3	0.8	0.8	0.0	0.2	1.9	2.9	3.8	
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.5	2.4	0.8	2.5	0.3	1.2	0.6	1.2	0.2	5.7	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	30.8	28.3	44.0	9.9	5.6	14.4	10.8	13.3	3.6	0.8	0.9
	輸出(yoy)	19.0	1.3	2.1	0.4	0.3	0.7	2.8	4.7	6.9	0.2	1.6
	輸入(yoy)	23.3	0.9	0.8	1.1	2.9	2.8	0.3	2.5	3.0	1.0	4.0
	経常収支(10億ドル)	26.1	48.1	70.7	16.2	10.0	19.8	19.0	22.0	6.4	3.6	
	外貨準備高(10億ドル)	306	327	346	327	327	326	337	346	346	348	352
雇用	失業率(季調値)	3.4	3.2	3.1	3.0	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3.2	3.9
物価	消費者物価(yoy)	4.0	2.2	1.3	1.7	1.6	1.2	1.4	1.1	1.1	1.1	1.0
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	5.5	4.8	4.6	4.8	4.8	4.9	4.2	4.6	4.6	5.5	
	株価指数(総合)	1,826	1,997	2,011	1,997	2,005	1,863	1,997	2,011	2,011	1,941	1,980
	CDレート(3ヵ月物)	3.44	3.30	2.72	2.89	2.83	2.73	2.67	2.65	2.65	2.65	2.65
	為替レート(ウォン/ドル)	1,108	1,127	1,095	1,090	1,085	1,123	1,111	1,062	1,057	1,065	1,071
	為替レート(円/100ウォン)	7.2	7.1	8.9	7.6	8.5	8.8	8.9	9.6	10.0	9.6	9.6

(出所) CEIC

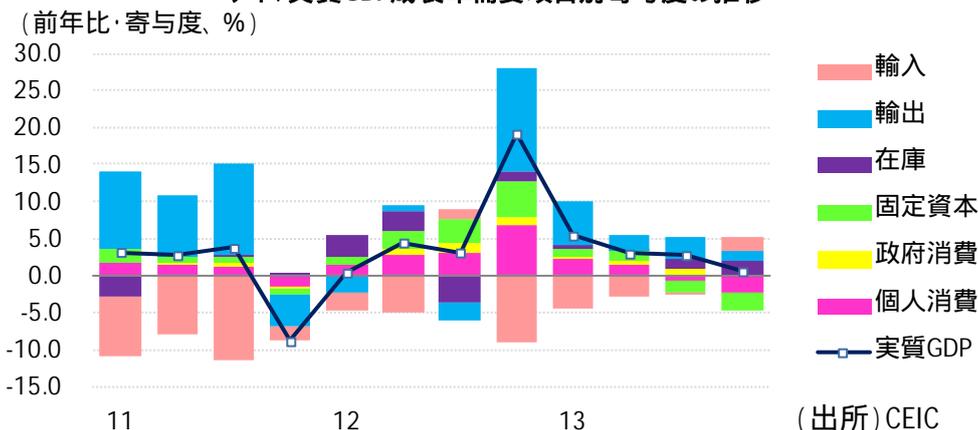
(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・景気の拡大が一服している。
- ・2013年10-12月期の実質GDP成長率は前年比0.6%にとどまった。10-12月期の成長率が小幅にとどまった主因は比較対象となる2012年10-12月期の成長率が 大洪水からの復興需要と 新車購入支援策期限切れ前の駆け込み需要により前年比19.1%と高かったことにある。この反動で2013年10-12月期は個人消費と固定投資が成長率の押し下げ要因となっている。一方、輸出は先進国景気の持ち直しを背景に底堅く推移している。
- ・タイ中銀は3月12日、政局混乱の影響で景気減速感が強まっているとして約3ヶ月半ぶりに政策金利の0.25%ポイント引き下げ(2.25% → 2.0%)を決めた。

タイ: 実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



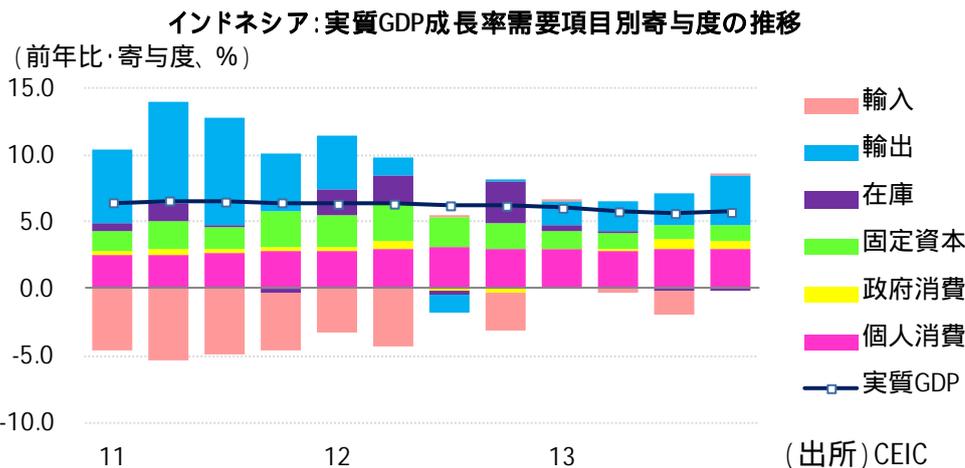
【タイの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP	0.1	6.5	2.9	19.1	5.4	2.9	2.7	0.6			
	民間消費	1.3	6.8	1.0	12.4	4.2	3.3	0.4	3.7			
	総固定資本形成	3.3	13.2	1.9	22.9	5.8	4.7	6.3	11.3			
生産	製造業生産指数(yoy)	8.5	2.2	3.2	43.4	2.9	4.9	3.5	7.1	6.3	6.4	
消費	個人消費指数(yoy)	3.7	5.7	0.3	7.5	3.8	0.7	2.2	0.9	0.3	1.5	
投資	民間企業投資指数(yoy)	8.1	15.2	0.3	25.5	13.0	1.9	3.6	7.0	8.2	8.6	
輸出入 BOP <sup>A</sup> -s	貿易収支(10億ドル)	17.0	6.0	6.4	0.1	1.6	1.0	5.0	3.8	2.0	0.7	
	輸出(yoy)	14.3	3.1	0.2	18.2	4.1	1.9	1.8	1.0	1.8	1.5	
	輸入(yoy)	24.9	8.8	0.4	16.4	8.5	1.0	2.9	7.6	9.3	12.9	
国際収支	経常収支(10億ドル)	4.1	1.5	2.8	1.9	0.1	7.2	0.9	5.2	2.5	0.2	
	外貨準備高(10億ドル)	165.2	171.1	159.0	171.1	167.7	162.5	163.5	159.0	159.0	158.3	159.3
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.7	0.7	0.5	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.9	
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.8	3.0	2.2	3.2	3.1	2.3	1.7	1.7	1.7	1.9	2.0
	消費者物価(コア,yoy)	2.4	2.1	1.0	1.8	1.5	1.0	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	15.1	10.4	7.3	10.4	9.5	10.2	7.1	7.3	7.3	7.5	
	株価指数(SET)	1,025	1,392	1,299	1,392	1,561	1,452	1,383	1,299	1,299	1,274	1,325
	インバーンツ金利(3M)	3.12	3.08	2.69	2.92	2.86	2.75	2.60	2.52	2.39	2.39	2.39
	為替レート(バーツ/\$)	30.5	31.1	30.7	30.7	29.8	29.9	31.5	31.7	32.3	32.9	32.7
	為替レート(円/バーツ)	2.61	2.57	3.17	2.64	3.09	3.30	3.14	3.16	3.20	3.16	3.13

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・景気は底堅く推移している。
- ・2013年10-12月期の実質GDP成長率は前年比5.7%と前期(同5.6%)から小幅加速した。事前の市場予想では0.3%ポイント程度の鈍化が見込まれていたが、輸出が一段と拡大したほか、中銀の利上げ(昨年6月から11月にかけて合計175ベースポイント:5.75%→7.50%)にもかかわらず消費や投資が堅調に推移した。10-12月期の輸出の拡大は先進国景気の持ち直しに加えて、通貨ルピア安の進行や2014年1月から実施される未加工鉱物禁輸措置前の駆け込み輸出も寄与したとみられている。一方、消費については安定成長が続く中で中間層が拡大し、消費の厚みが増したことが底堅さに寄与しているとみられる。
- ・インドネシア中銀は3月13日、物価の安定や経常収支の改善など経済の安定化傾向を維持するため、4ヶ月連続となる政策金利の据え置き(7.50%)を決めた。



【インドネシアの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP	6.5	6.3	5.8	6.2	6.0	5.8	5.6	5.7			
	民間消費支出	4.7	5.3	5.3	5.4	5.2	5.1	5.5	5.3			
	総固定資本形成	8.3	9.7	4.7	7.5	5.5	4.5	4.5	4.4			
生産	製造業生産(yoy)	4.1	4.1	5.8	11.1	9.0	6.8	7.2	0.9	2.1	0.9	
消費	小売売上(yoy)	9.0	14.5	12.9	17.2	10.1	12.3	9.2	19.7	28.2	28.4	27.7
輸出入	貿易収支(10億ドル)	26.1	1.7	4.1	2.7	0.2	3.1	3.1	2.3	1.5	0.4	
	輸出(yoy)	28.9	6.6	3.9	8.3	6.4	5.8	6.9	3.3	10.2	5.8	
	(除く石油ガス,yoy)	24.8	5.5	2.0	6.1	3.3	2.1	5.6	2.6	9.1	5.8	
	輸入(yoy)	30.8	8.0	2.6	4.9	0.2	3.8	0.9	6.9	0.8	3.5	
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.7	24.4	28.5	7.8	5.9	10.0	8.5	4.0			
	外貨準備高(10億ドル)	103.4	105.3	92.9	105.3	97.5	91.6	88.9	92.9	92.9	94.0	95.9
物価	消費者物価(yoy)	5.3	4.0	6.4	3.9	4.5	5.1	8.0	8.0	8.1	8.2	7.7
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	16.4	15.0	12.7	15.0	14.0	11.8	14.6	12.7	12.7	11.6	
	株価指数(総合)	3,822	4,317	4,274	4,317	4,941	4,819	4,316	4,274	4,274	4,419	4,620
	中銀債金利(3ヵ月)	6.00	5.75	7.50	5.75	5.75	6.00	7.25	7.50	7.50	7.50	7.50
	為替レート(比7/ドル)	8,773	9,419	10,563	9,630	9,695	9,818	10,938	11,800	12,189	12,226	11,634
	為替レート(円/100比7)	0.91	0.85	0.93	0.86	0.95	1.01	0.90	0.86	0.86	0.84	0.88

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。

**3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標**
**【マレーシアの主要経済指標】**

		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP	5.1	5.6	4.7	6.5	4.1	4.4	5.0	5.1			
	民間消費	6.8	7.7	7.6	6.2	7.5	7.2	8.2	7.3			
	総固定資本形成	6.2	19.9	8.2	16.0	13.1	6.0	8.6	5.8			
生産	鉱工業生産(yoy)	1.2	4.4	0.9	5.8	3.0	2.5	3.3	0.7	2.4	3.7	
消費	自動車販売台数(yoy)	0.8	4.6	4.5	12.9	13.9	4.3	11.0	0.9	0.0	8.7	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	40.6	31.1	22.5	8.8	5.3	2.7	5.7	8.6	3.0	1.9	
	輸出(yoy)	15.0	0.3	0.4	0.9	3.3	4.0	3.7	5.0	7.6	3.2	
	輸入(yoy)	14.2	4.8	4.9	4.0	5.7	4.0	3.6	6.4	7.7	1.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	33.5	18.6	11.8	7.5	2.8	0.8	3.0	5.1			
	外貨準備高(10億ドル)	120	126	122	126	127	124	124	122	122	120	118
雇用	失業率(%)	3.1	3.0	3.1	3.1	3.2	3.0	3.1	3.2	3.0		
物価	消費者物価(yoy)	3.2	1.7	2.1	1.3	1.5	1.8	2.2	3.0	3.2	3.4	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	14.7	9.7	8.4	9.7	9.7	9.0	8.0	8.4	8.4	7.2	
	株価指数(総合)	1,531	1,689	1,867	1,689	1,672	1,774	1,769	1,867	1,867	1,804	1,836
	インターバンク金利(1M,%)	2.97	3.06	3.07	3.06	3.07	3.06	3.07	3.07	3.07	3.09	3.07
	為替レート(リンギ/ドル)	3.06	3.09	3.15	3.06	3.08	3.07	3.24	3.21	3.25	3.30	3.31
	為替レート(円/リンギ)	26.0	25.8	30.9	26.5	29.9	32.1	30.5	31.3	31.8	31.5	30.9

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

**【フィリピンの主要経済指標】**

		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP	3.6	6.8	7.2	7.1	7.7	7.6	6.9	6.5			
	民間消費支出	5.7	6.6	5.6	6.2	5.5	5.1	6.2	5.6			
	固定資本形成	2.0	10.4	11.7	19.7	15.6	13.2	11.9	7.0			
生産	鉱工業生産(yoy)	2.1	7.0	5.9	10.1	5.7	2.6	10.0	16.5	20.2	7.3	
消費	自動車販売台数(yoy)	15.9	10.6	15.7	25.3	28.9	12.2	14.1	10.7	11.8	27.1	16.5
輸出入	貿易収支(10億ドル)	12.2	10.0	7.9	3.8	2.3	1.8	2.3	1.6	0.8		
	輸出(yoy)	6.2	7.9	3.6	9.7	6.2	2.7	8.4	16.1	15.8	9.3	
	輸入(yoy)	10.1	2.7	0.5	7.5	7.4	0.1	7.6	2.0	2.1		
国際収支	経常収支(10億ドル)	7.0	7.1		2.2	3.2	2.6	3.2				
	外貨準備高(10億ドル)	75.3	83.8	83.2	83.8	83.9	81.3	83.5	83.2	83.2	79.5	80.3
雇用	失業率(%)	7.4	7.2	7.2	6.8	7.1	7.5	7.3	6.5			
物価	消費者物価(yoy)	4.7	3.2	2.9	3.0	3.2	2.6	2.4	3.5	4.1	4.2	4.1
金融	マネーサプライ(yoy)	6.3	10.6	33.0	10.6	13.3	20.5	32.0	33.0	33.0		
	株価指数(総合)	4,372	5,813	5,890	5,813	6,847	6,465	6,192	5,890	5,890	6,041	6,425
	国債(3ヵ月,%,期末)	1.56	0.20	0.00	0.20	0.08	0.90	0.87	0.001	0.001	0.693	1.46
	為替レート(ペソ/ドル)	43.3	42.2	42.4	41.2	40.7	41.8	43.7	43.6	44.1	44.9	44.9
	為替レート(円/ペソ)	1.84	1.89	2.30	1.97	2.27	2.36	2.26	2.30	2.34	2.31	2.27

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)。

**【シンガポールの主要経済指標】**

		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP	6.0	1.9	4.1	2.2	0.6	4.2	5.8	5.5			
	民間消費	4.4	4.1	2.7	3.8	3.1	3.0	2.7	1.9			
	総固定資本形成	6.0	8.7	2.6	9.6	6.0	2.5	4.4	6.3			
生産	鉱工業生産(yoy)	7.8	0.3	1.6	0.2	6.4	0.8	5.2	7.0	6.4	3.9	
消費	小売売上金額(yoy)	9.4	3.6	5.0	1.4	4.3	0.6	7.3	7.8	5.5	0.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	43.8	28.6	37.3	6.1	7.2	10.5	9.0	10.5	3.4	3.1	
	輸出(yoy)	16.5	0.2	0.5	0.0	6.8	1.0	4.0	3.7	5.6	0.6	
	輸入(yoy)	17.7	3.9	1.8	4.9	7.4	2.8	4.1	0.8	0.3	4.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	63.3	49.4	54.4	10.1	10.8	15.2	14.4	13.9			
	外貨準備高(10億ドル)	238	259	273	259	258	260	268	273	273	272	274
雇用	失業率(季調値,%)	2.0	1.9	1.9	1.8	1.9	2.1	1.8	1.8			
物価	消費者物価(yoy)	5.2	4.6	2.4	4.0	4.0	1.6	1.8	2.0	1.5	1.4	
金融	マネーサプライ(M2,%)	10.0	7.2	4.3	7.2	8.5	9.1	7.5	4.3	4.3	3.6	
	株価指数(ストリート)	2,646	3,167	3,167	3,167	3,308	3,150	3,168	3,167	3,167	3,027	3,111
	インターバンク金利(3M,%)	0.41	0.38	0.40	0.38	0.38	0.38	0.42	0.40	0.40		
	為替レート(S\$ /ドル)	1.26	1.25	1.25	1.22	1.24	1.25	1.27	1.25	1.26	1.27	1.27
	為替レート(円/S\$)	63.4	63.8	77.9	66.3	74.5	79.0	78.0	80.3	82.2	81.7	80.6

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・ 経済活動に緩やかながら持ち直しの動きがみえる。
- ・ 2014年1-2月の小売売上は名目ベースで前年比11.6%増、インフレ率を差し引いた実質ベース（試算値）で同6.5%増と名目でも実質でも昨年同期（名目：同10.9%増、実質：同3.9%増）を上回った。
- ・ 1-2月の輸出は電話機や繊維製品を中心に前年比13.1%増と堅調であった。輸入も同じ期間、機械類を中心に同16.1%増と大幅に増加したが、貿易収支は1-2月合算で2.4億ドルの黒字を計上し、黒字基調が続いている。
- ・ こうした内外需の堅調を背景に1-2月の鉱工業生産は前年比6.4%増と底堅く推移している。また2月の消費者物価上昇率は前年比4.7%と2009年11月（同4.4%）以来4年3ヶ月ぶりに5%以下に低下した。

(前年比、%) ベトナム：消費者物価と実質小売売上の推移



(注) 実質小売売上(前年比) = 名目小売売上(前年比) - 消費者物価(前年比)で試算。各年とも1-2月は旧正月要因を除くため1-2月平均の同値をプロット。

(出所) CEIC

【ベトナムの主要経済指標】

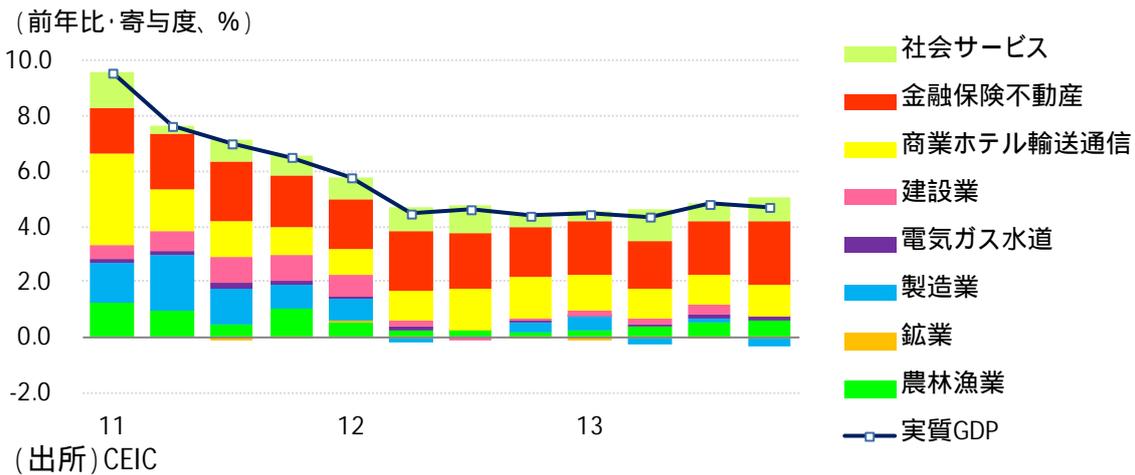
		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy) ytd	実質GDP	6.2	5.2	5.4	5.0	4.9	4.9	5.1	5.4			
	農業	4.0	2.7	2.7	2.7	2.2	2.1	2.4	2.7			
	工業・建設	6.7	5.7	5.4	4.5	4.9	5.2	5.2	5.4			
生産	鉱工業生産(yoy)	6.7	4.8	7.7	5.2	6.6	8.2	8.1	7.8	6.4	2.1	18.0
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	24.2	16.0	12.6	16.0	11.7	11.9	12.5	12.6	12.6	13.0	11.6
輸出入	貿易収支(10億ドル)	8.9	2.0	0.4	1.0	0.1	1.2	0.9	0.6	0.5	1.4	1.2
	輸出(yoy)	33.1	20.0	16.5	17.8	19.2	14.6	15.8	16.8	12.4	0.1	34.3
	輸入(yoy)	24.4	7.9	18.2	7.4	20.2	18.1	15.9	19.0	23.6	6.4	49.2
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.2	9.1		2.2							
	外貨準備高(10億ドル)	13.1	25.2		25.2	28.0						
物価	消費者物価(yoy)	18.6	9.3	6.6	7.0	6.9	6.6	7.0	5.9	6.0	5.5	4.7
金融	株価指数(VN index)	351.6	413.7	504.6	413.7	491.0	481.1	492.6	504.6	504.6	556.5	586.5
	プライムレート(翌日物:期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	20,547	20,828	20,949	20,828	20,828	20,897	21,036	21,036	21,036	21,036	21,036
	為替レート(円/100ドン)	0.39	0.38	0.47	0.39	0.44	0.47	0.47	0.48	0.49	0.49	0.49

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%), ytd = 年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・内外需の低迷から低成長が続いている。
- ・2013年10-12月期の実質GDP成長率は前年比4.7%と前期(同4.8%)を0.1%ポイント下回った。金融保険、商業ホテルなどサービス業は堅調に拡大し、農業も雨期の降雨量が十分であったことから安定的に推移しているが、内需の低迷による製造業の不振とその影響を受けた建設業の低迷が成長率の押し下げ要因となっている。
- ・2月の消費者物価上昇率は食品価格の安定から前年比8.1%と前月(同8.8%)から低下した。インド準備銀行(中央銀行)はインフレ抑制のため、9月、10月と2ヶ月連続の利上げの後、景気の減速傾向を背景に12月は金利を据え置いた。消費者物価上昇率の低下を受け、4月1日に予定されている金融政策決定会合でも引き続き、金利が据え置かれる可能性が高まったとみられている。

インド: 実質GDP成長率産業別寄与度の推移



【インドの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	13/12月	14/1月	14/2月
GDP (yoy)	実質GDP	7.7	4.8	4.6	4.4	4.4	4.4	4.8	4.7			
	農業生産	6.3	1.9	3.1	0.8	1.6	2.7	4.6	3.6			
実質GDP(年度)		6.7	4.5									
生産	鉱工業生産(yoy)	4.8	0.7	0.6	2.1	2.2	1.0	1.9	0.9	0.2	0.1	
消費	新車販売台数(yoy)	5.7	9.8	7.6	9.9	11.6	7.4	3.1	6.9	9.0	9.3	3.9
輸出入	貿易収支(10億ドル)	161.6	192.9	154.6	55.0	43.5	50.7	29.4	31.0	10.5	9.9	8.1
	輸出(yoy)	33.8	2.0	5.3	0.7	4.5	1.0	12.0	5.9	1.9	3.8	3.7
	輸入(yoy)	32.6	5.4	4.6	6.2	0.8	6.0	9.0	15.5	15.3	18.1	17.1
国際収支	経常収支(10億ドル)	62.8	91.8	49.2	31.8	18.2	21.8	5.2	4.1			
	外貨準備高(10億ドル)	262.9	261.7	267.7	261.7	259.7	254.4	248.8	267.7	267.7	264.6	
物価	卸売物価(yoy)	9.5	7.5	6.3	7.3	6.7	4.8	6.6	7.0	6.2	5.0	
	消費者物価(yoy)	9.6	9.7	10.1	10.1	10.7	9.5	9.7	10.4	9.9	8.8	8.1
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	16.0	11.2	14.9	11.2	13.8	12.7	12.9	14.9	14.9	14.5	14.5
	株価指数(BSE Sensitive)	15,455	19,427	21,171	19,427	18,836	19,396	19,380	21,171	21,171	20,514	21,120
	TB3ヶ月	8.06	8.41	8.81	8.17	8.07	7.45	10.99	8.74	8.69	8.90	9.15
	為替レート(ルピー/ドル)	46.9	53.6	59.0	54.5	53.8	56.8	63.5	61.9	61.9	62.5	62.1
	為替レート(円/ルピー)	1.69	1.49	1.66	1.52	1.72	1.74	1.54	1.64	1.70	1.64	1.64

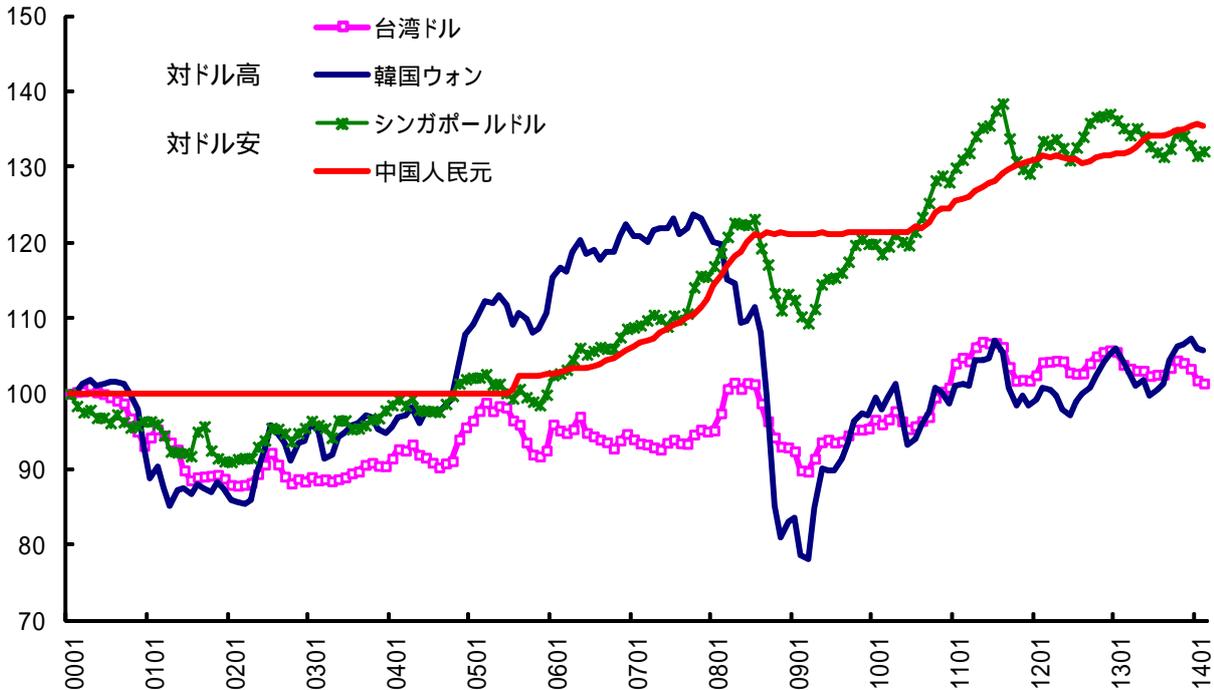
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%),年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。消費者物価は2011年から新系列。

・アジア通貨・株価動向

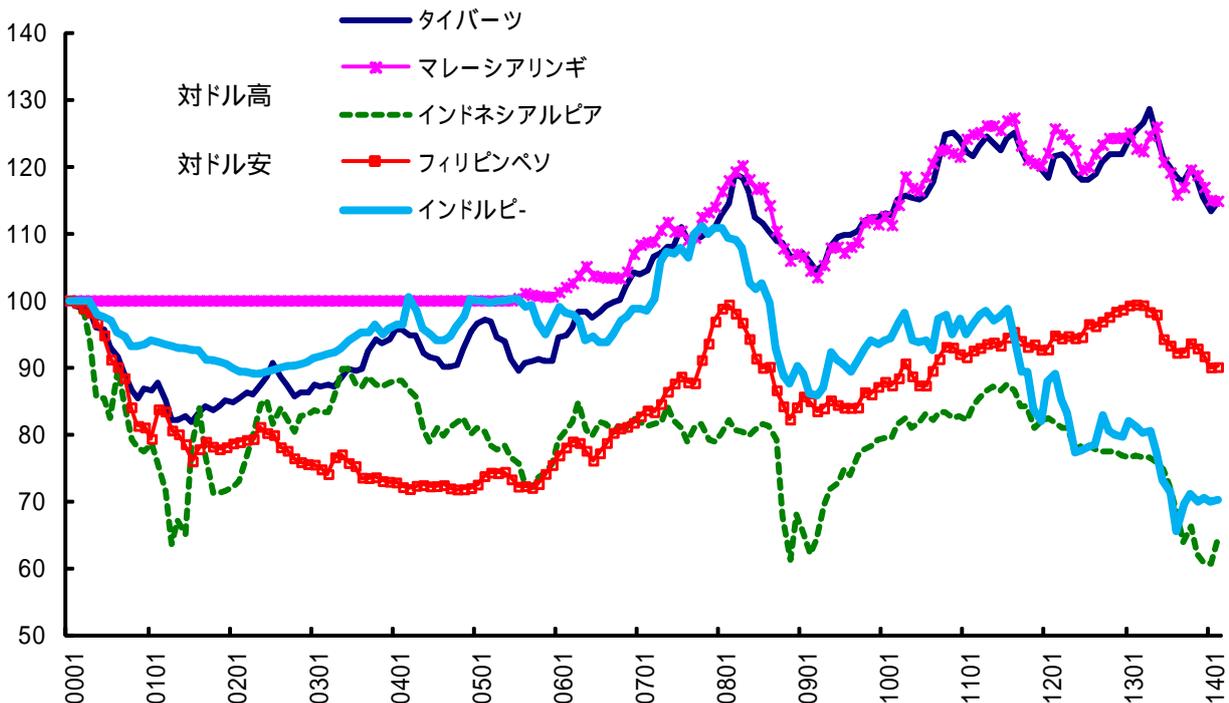
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

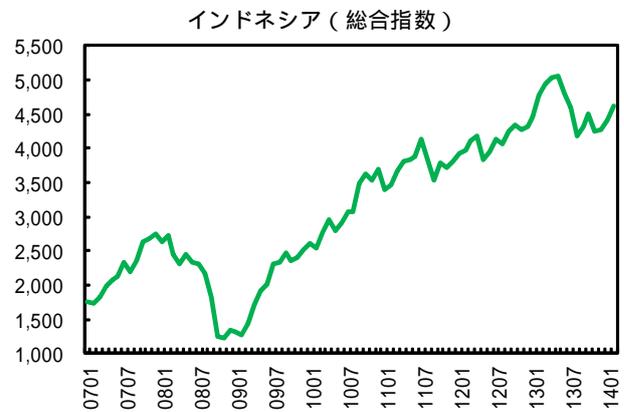
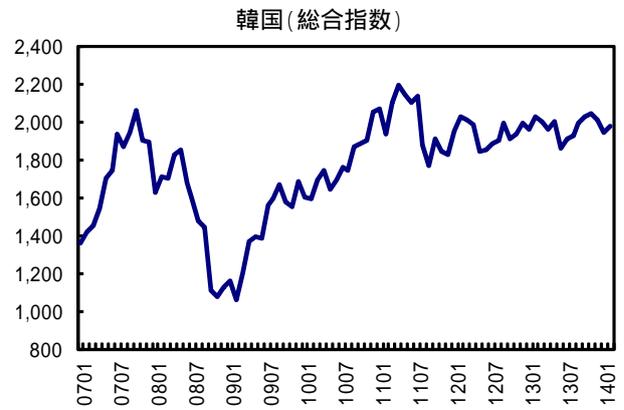
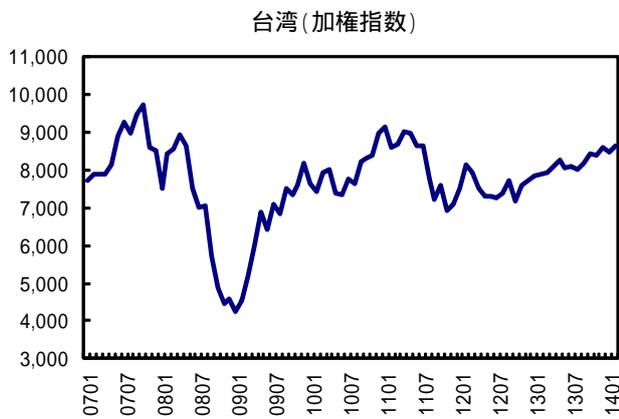
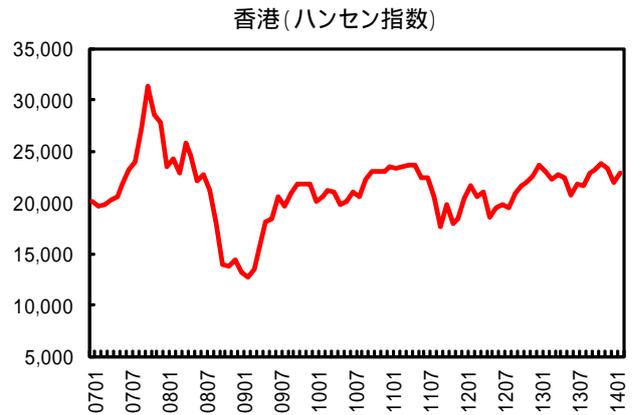


(2000年1月 = 100)



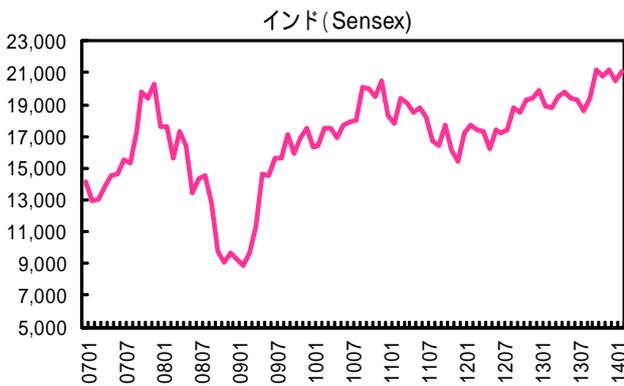
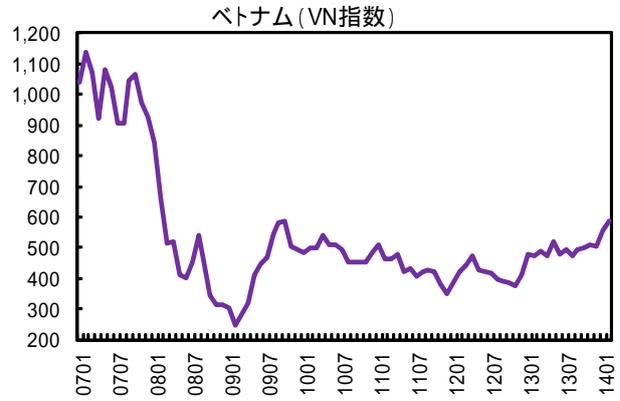
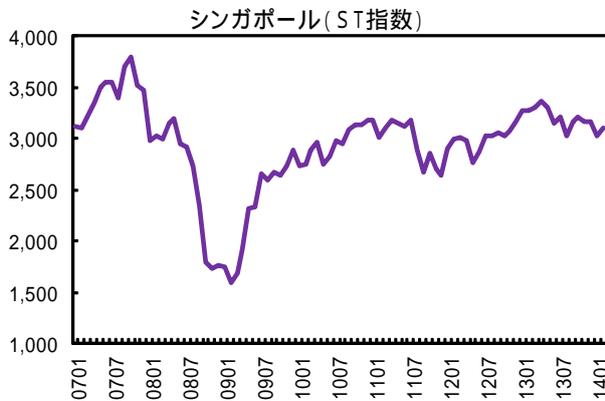
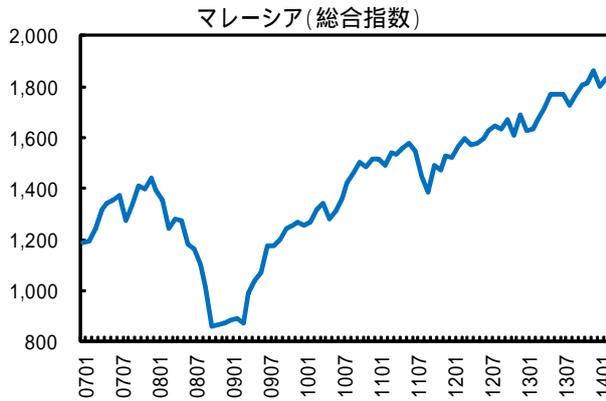
(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

- ご利用に際して -

- Ⅰ 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- Ⅰ また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- Ⅰ 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- Ⅰ 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- Ⅰ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。